

西の丸御蔵城宝館企画展
「文化財を受け継ぐ」



出品目録

会期：令和5年9月9日(土)～10月9日(月・祝)

名古屋城は、先の戦災で焼失した本丸御殿の障壁画をはじめとして、尾張徳川家やこれにゆかりのある近世武家文化に関する各種の資料を収蔵しています。貴重な文化財であるこれらの資料には、名古屋城だけでなく、市民のみなさまによって守り伝えられてきたものも含まれています。また、名古屋城は、今現在も市民のみなさまが所有し、大切に守り伝えている資料をお借りして、収蔵資料とともに展示紹介することも行っています。この展示では、長らく名古屋城での展示にご協力いただいた公益財団法人日本美術刀剣保存協会の協力団体である名古屋支部の会員のみなさまが所有する刀剣類を第1部とし、重要文化財である本丸御殿障壁画をはじめとする名古屋城収蔵資料を第2部として、文化財を受け継ぐ営みについて紹介します。

第1部 刀剣を受け継ぐ（「第47回 名古屋城刀剣展示会」）

番号	名称	員数	製作年代	国・流派	刃長
1	短刀 銘 藤原貞清	1振	鎌倉時代 14世紀	大和国・保昌派	7寸3分5厘 (22.3cm)
	黒呂塗龍文高時絵鞘出鮫合口拵	1口			
2	太刀 銘 家忠	1振	鎌倉時代 13世紀	備前国・古備前派	2尺3寸7分 (71.8cm)
	金梨地鞘糸巻太刀拵	1口			
3	太刀 銘 長光	1振	鎌倉時代 13世紀	備前国・長船派	2尺3寸4分 (70.9cm)
	朱色鮫研出鞘打刀拵	1口			
4	刀 無銘 安綱	1振	平安時代 10世紀	伯耆国	2尺3寸5分 (71.2cm)
	黒呂塗鞘葵紋打刀拵	1口			
5	短刀 銘 兼元(2代)	1振	室町時代 16世紀	美濃国	8寸9分1厘 (27.0cm)
	朱色金紛溜塗鞘葵紋出鮫合口拵	1口			
6	刀 銘 越後守包貞(2代)	1振	江戸時代 17世紀	摂津国	2尺2寸9分 (69.4cm)
	茶色塗鞘打刀拵	1口			
7	脇差 銘 綱廣(3代)	1振	桃山～江戸時代 16～17世紀	相模国	1尺2寸4分 (37.6cm)
	朱菊判変り鞘小さ刀拵	1口			
8	刀 銘 飛驒守藤原朝臣氏房	1振	桃山～江戸時代 16～17世紀	尾張国	2尺3寸2分 (70.3cm)
	黒呂塗鞘打刀拵	1口			
9	脇差 銘 於南紀重国造之	1振	桃山～江戸時代 16～17世紀	紀伊国	1尺2寸9分 (39.1cm)
	朱色塗鞘小さ刀拵	1口			
10	短刀 銘 播磨守輝廣作(2代)	1振	桃山～江戸時代 16～17世紀	安芸国	9寸4分7厘 (28.7cm)
	黒呂塗鞘合口	1口			

すべて日本美術刀剣保存協会名古屋支部会員の所蔵です。出品番号は展示順と異なります。

第2部 思いを受け継ぐ

番号	指定	作品名	員数	作者等	時代	備考
1-1		名古屋城古釘転用火箸	3組		江戸時代/昭和時代	松山カーテン株式会社寄贈
1-2		名古屋城古釘(火箸転用)	5本		江戸時代/昭和時代	松山カーテン株式会社寄贈
2		瓦釘火箸	1組		江戸時代/昭和時代	個人からの寄贈
3		名古屋離宮城之図	1枚	後藤彦右工門	明治29年(1896)	*
4-1		名古屋城古写真	1枚		明治時代	*
4-2		名古屋城古写真	1枚		明治時代	*
4-3		名古屋城古写真	1枚		明治時代	*
5-1		石垣拓本資料	1枚	川地義郎	昭和時代	川地義郎氏寄贈
5-2		石垣拓本資料	1枚	川地義郎	昭和時代	川地義郎氏寄贈
5-3		石垣拓本資料	1枚	川地義郎	昭和時代	川地義郎氏寄贈
5-4		石垣拓本資料	1枚	川地義郎	昭和時代	川地義郎氏寄贈
5-5		石垣拓本資料	1枚	川地義郎	昭和時代	川地義郎氏寄贈
6	◎	桐文図(緑)	1面		寛永11年(1634)	名古屋城本丸御殿上洛殿入側 天井板絵 501
7	◎	桐文図(白)	1面		寛永11年(1634)	名古屋城本丸御殿上洛殿入側 天井板絵 601
8	◎	桐文図(緑)	1面		寛永11年(1634)	名古屋城本丸御殿上洛殿入側 天井板絵 557
9	◎	桐文図(白)	1面		寛永11年(1634)	名古屋城本丸御殿上洛殿入側 天井板絵 509
10	◎	菊文図(白)	1面		寛永11年(1634)	名古屋城本丸御殿上洛殿入側 天井板絵 339
11	◎	菊文図(緑)	1面		寛永11年(1634)	名古屋城本丸御殿上洛殿入側 天井板絵 465
12	◎	菊文図(白)	1面		寛永11年(1634)	名古屋城本丸御殿上洛殿入側 天井板絵 343

◎重要文化財

*は名古屋城振興協会所蔵、名古屋城総合事務所寄託です。その他はすべて名古屋城総合事務所所蔵です。出品番号は展示順と異なります。